

- 新たな概念やアイデアの実現可能性を具体的に検討する「概念実証」(Proof of concept)について支援します。  
事業化アイデアを、早い段階でブラッシュ・アップしませんか。

令和2年度

地域イノベーション・エコシステム形成プログラム

基盤構築プロジェクト 実施要領

つくばグローバル・イノベーション推進機構(略称:TGI)

#### 1. 支援事業の名称

文部科学省「地域イノベーション・エコシステム形成プログラム」基盤構築プロジェクト

受託者：一般社団法人つくばグローバル・イノベーション推進機構、茨城県

事業プロデューサー：山海壽之(筑波大学大学院教授、CYBERDYNE(株)社長)

同事業は、文部科学省の地域における科学技術振興の重要施策(補助金事業)です。社会的なインパクトが大きく地域の成長とともに国富の増大に資する事業化プロジェクトを推進することで、日本型イノベーション・エコシステムの形成と地方創生を実現することを目指しております。その中で「基盤構築プロジェクト」は、同事業における「次世代プロジェクト」に位置づけられており、事業化有望シーズを発掘し、事業プロデューサーによる事業計画のブラッシュ・アップおよび概念実証の推進を行うものです。

参考：[https://www.mext.go.jp/content/1413403\\_1.pdf](https://www.mext.go.jp/content/1413403_1.pdf)

[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/kagaku/chiiki/program/1413389.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/kagaku/chiiki/program/1413389.htm)

[https://www.mext.go.jp/content/1413151\\_1.pdf](https://www.mext.go.jp/content/1413151_1.pdf)

## 2. 支援の内容

### (1) 内容

概念実証(POC)における支援。

※事業化・起業化したいが、自分の研究内容、技術、アイデアが市場ニーズとしっかりフィットするか、更に磨き上げる必要があるか、競合との関係はどうか、などについてプロトタイプ作製、市場・競合調査、展示会出展斡旋、企業とのマッチングなどを行い、次のフェーズにスムーズに移行するための支援を行います。

### (2) 期間

令和3年3月31日までの1年間

### (3) 支援金額の規模

1案件当たり300万円程度(過去4年間の実績。支援内容により変動します。)

## 3. 候補者の要件

応募できる者は、つくば市内の大学、研究機関に勤務・通学する者とします。

## 4. 契約関連、知財の取り扱い

### (1) 契約について

つくばグローバル・イノベーション推進機構(以下:TGI)から、申請者が所属する大学または研究機関への委託契約です。

※TGIは文部科学省から補助事業者に採択されています。

### (2) 知財の取り扱いについて

本プロジェクトにより得られた知的財産権は、所属する大学・研究機関側に帰属します。なお、出願・申請したことについては、TGIに報告が求められます。

## 5. つくばグローバル・イノベーション推進機構(略称TGI)について

TGIは、筑波研究学園都市の知的資源を生かした産学官の連携、研究機関の技術シーズと産業界のニーズのマッチングによる新事業創生、ベンチャー育成などにより、経済や社会システムに大きなインパクトを与える成果をつくばから持続的に創出していくことを目指して設立された組織です。

茨城県とつくば市、筑波大学、つくば内外の研究機関、企業、金融機関などが協力して運営しています。

参考:<http://tsukuba-gi.jp>

## 6. 応募について

### (1) 応募方法

<添付資料1>概要説明書・申請書 を、令和2年5月11日(月)17時15分までにTGI宛提出(メールまたは持参)してください。

アドレス event@tsukuba-gi.jp

- (2) スケジュール
- ・企画提案の公募締め切り 5月11日(月)
  - ・1次審査(書類審査) 5月中旬
  - ・選考ピッチ会 5月29日(金)
  - ・企画提案の採択 6月上旬

(3) 選考について

選考ピッチ会(プレゼン提案時間7分間)を実施、  
山海事業プロデューサーはじめ3名の選考員による質疑並びにコメント。

7. 採択後の流れについて

- (1) TGIのメンターと打合せ、業務(成果)目標並びに支援策・支援金額の設定を行います。
- (2) TGIと所属機関との間で委託契約を締結。
- (3) 月に1~2回程度、TGIメンターと各種支援取り組みについて面談。  
関連情報の提供、相談や、進捗状況の確認などにより、追加支援策の必要性や、計画の修正など随時打合せ。
- (4) 期末時点で、報告会での発表、報告書(数ページ)の作成をお願いしています。

8. 問い合わせ先

つくばグローバル・イノベーション推進機構 担当者;奥山  
住所 : つくば市吾妻1-10-1 つくばイノベーションプラザ内  
電話 : 029-869-8034  
E-mail [okuyama.hiroshi@tsukuba-gi.jp](mailto:okuyama.hiroshi@tsukuba-gi.jp)

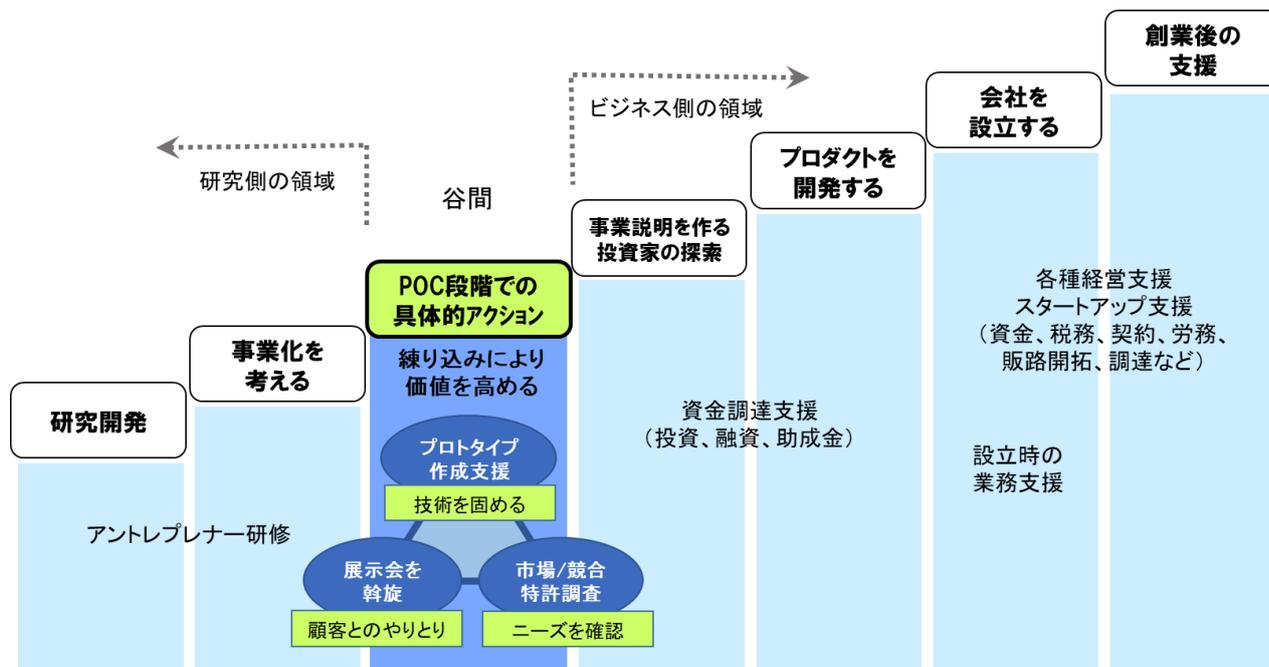
添付資料 1

令和 2 年度 地域イノベーション・エコシステム形成プログラム  
基盤構築プロジェクト 概要説明書・申請書

申請者	所属機関	名称	
		所在地	
	氏名	カナ	
		氏名	
		所属	
		役職名	
		アドレス	
電話番号			
案件	テーマ名		
	提案内容		
	このプロジェクトで 実現したいこと		
その他			

## 添付資料 2 POC段階での支援の重要性について

- 市場ニーズと企業シーズ・アイデアがぴったりと合っているのか、どのような修正が必要か。そもそもそのニーズは大きいのか、競合する技術と比較して優位なのか。事業化へのステップには無理はないのか、など、VCから資金を入れる、大型の支援事業に取り組むなどの前段階でしっかりと確認(練り上げ)が必要です。



この段階をしっかりと行わないと事業(製品)の価値が高まらない。  
しかし具体的な支援策は多くない。

- 基盤構築プロジェクトは、この「谷間」をスムーズに乗り切り、次のフェーズに円滑に進めることを主たる目的としています。

添付資料 3 選考ピッチ会で発表頂きたい内容  
(一次審査からピッチ会まで期間が短いため参考までに記載しています。)

■5月29日に予定している選考ピッチ会は、発表時間が7分間です。

■発表頂く資料には、極力、以下のような内容が記載されているようお願い致します。  
※もともと時間が7分間と短いので、項目の中では記載を確認するのみで、説明を省略頂いても構いません。

I 取り組む課題

- ・問題意識、課題設定の背景、コンセプト、など
- ・差別化要素、当該技術の特徴や強み、など
- ・課題の解決策、など

II 知財取得状況

III 対象となる市場

- ・市場の規模、トレンド、性質、参入容易性(障壁)など

IV アクションプラン

- ・スタートする時期のイメージ、出口戦略、など

V 資金の使途